

福岡病院での診療情報を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	放射線科 主任診療放射線技師 森 政裕
2. 研究課題名	慢性閉塞性肺疾患におけるCT画像を用いた肺野LAA解析と呼吸機能検査の相関関係の検討
3. 研究の概要	<p>慢性閉塞性肺疾患診断にはスパイロメータを用いた呼吸機能検査が不可欠であるが、近年の新型コロナウイルスの影響により、飛沫防止対策の観点から呼吸機能検査が制限されている。一方、慢性閉塞性肺疾患診断の一つとして、胸部CTにおける気腫性変化を示す低吸収領域(Low Attenuation Area:LAA)と生存期間との相関を示す報告もある。</p> <p>LAAを定量的に評価する方法として、ワークステーションによるCT画像を用いた肺野LAA解析がある。肺野LAA解析は肺野を左右および上部、中部、下部に分け、CT値でLAA閾値を設定し、肺野断面積に対するLAA面積の割合をスコア化することで、LAAの定量化が可能である。</p> <p>2021年以前でCT検査と呼吸機能検査を同日施行した症例を対象に、CT画像を用いた肺野LAA解析を実施し、肺野LAA解析結果とスパイロメータを用いた呼吸機能検査(FVC:努力性肺活量、FEV1:1秒量、FEV1%:1秒率等)との相関関係の検討を行う。肺野LAA解析結果とFEV1%のROC曲線解析を実施し、慢性閉塞性肺疾患において重症度判定が可能であるか検討する。また、残気量、肺拡散能と肺野LAA解析を評価することで、より正確な慢性閉塞性肺疾患の重症度評価が可能であるか検討する。</p>
(個人情報利用の目的)	CT画像を用い、肺野LAA解析を行うため。また、同日施行したスパイロメータによる呼吸機能検査情報を使用するため。
	研究期間(データ収集期間): 2022/8~2022/10
4. 使用する診療情報	<p>診療情報内容: 臨床所見(年齢、性別、身長、体重)</p> <p>対象診療期間: 2018年~2020年</p>
5. 使用する検体	<p>胸部CT画像</p> <p>呼吸機能検査結果(FVC:努力性肺活量、FEV1:1秒量、FEV1%:1秒率、FRC:残気量、DLCO:肺拡散能)</p>
6. 病名	慢性閉塞性肺疾患もしくは慢性閉塞性肺疾患疑い

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会等において厳重に審査され、承認されています。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

国立病院機構福岡病院管理課
 管理課長

住所 : 〒811-1394 福岡市南区屋形原4丁目39-1

電話: 092-565-5534

FAX: 092-566-0702

(お問い合わせは、なるべく、FAX又は郵送でお願いいたします。)